

集団的自衛権行使容認に反対する声明

私たちは、憲法 9 条の解釈の変更、集団的自衛権の行使容認に反対します。

保育問題研究会は、1936 年に結成されて以来、子どもたちが豊かに育つための保育を研究してきました。

戦時下、子どもたちは、命を失ったり、親や家を失ったり、食べ物が不足したり、子ども時代を安心してゆったり過ごすことができませんでした。そのつらい経験の反省の上に立って、日本国憲法はつくられました。子どもが健やかに育つためには、平和な社会であることが必要です。

このたび閣議決定された憲法 9 条の解釈の変更、集団的自衛権の行使容認は、日本を再び戦争への道に導くものです。

私たちは歴史に学び、二度と戦争をしないことを宣言した憲法 9 条を守り、子どもたちが平和に生活できる社会の実現を目指して、憲法 9 条の解釈の変更、集団的自衛権の行使容認の閣議決定の撤回を求めます。

2014 年 7 月 6 日

全国保育問題研究協議会常任委員会